

東大和タウンマップ

第二期 第22号

編集・発行：中野しのぶ

電話&Fax 042(567)1480

〒207-0013 東大和市向原6-1180-5

[Email] townmap@jcom.zaq.ne.jp

[HP] 休止中です

2017年

2月1日



◇桜が丘3丁目に建設予定の廃プラ施設イメージ図。すぐ南は特別養護老人ホームさくら苑。
◇基本構想では13億2千万円(2014年3月) 実施計画では18億8千万円(2016年2月) 補正予算では25億9千万円(2016年11月) ※建設費高騰を理由に金額が当初の倍に…?

公開講座のご案内

平成28年11月小平・村山・大和衛生組合議会(仮称)3市共同資源物処理施設整備費補正予算案

賛否同数、議長採決で可決された

総額25.9億円の事業とは

ゴミは減少・将来人口も減少する世の中で、事業費は増大く18.8億円から25.9億円)

3市の市民にどう影響があるのか?

聞いて・考え・議論しよう!!

2月19日(日)10時~12時

中央公民館ホール

次第 1)小平・村山・大和衛生組合議会・東大和派遣議員による現状報告
2)参加者による意見交換

主催:ひつまぶしの会(南街公民館利用グループ)
市政を市民の目線で考えるグループ
代表:柳下 進(Tel.042-566-0423)

建設費は最終的に25億4千万円にまで拡大! 矛盾だらけの廃プラ施設の行方は?

地元の市民の合意を得てから建設を決めると言っておきながら、桜が丘に予定された3市共同資源物処理施設(以下、廃プラ施設)は、本年1月20日の小平・村山・大和衛生組合(以下、衛生組合)臨時議会で約25億4千万円の工事契約が1票差で可決されるに至った。

廃プラ施設建設を巡って組合議会は、1票差や可決同数が続く異例の事態となっている。市民からも計画への疑念は強く、公開講座の企画も予定されている。矛盾だらけの廃プラ施設計画を再度明らかにしたい。

【文責・編集部】

◆市民合意まだなのにな?

2013年1月、小平・小和・武蔵村山の3市長は「地域の住民の理解を得る事を前提に事業を推進する」と合意文書に署名捺印した。

その後も組合議会や市議会等で、住民の合意は得られたのかと質問されると「得られていない」と答弁しつつも、3市長間でその後「必要不可欠な施設として建設を進める」との合意が出来たからと、建設を既成事実化する動きを強めてきた。

多くの住民が集まり説明を求めた時には住民を安心させる答弁をしながら、裏では別の取り決めを行う、まるでブラック企業のような対応に地域住民の不信感は深まっている。

◆なぜ施設が必要か?

そもそも肝心の施設の必要性が未だ疑問である。

処理対象となっているペクトボトルと容器包装リサイクル法に基づくその他プラスチック(以下、その他プラ)は、現状では武蔵村山市が全て民間委託、東大和市も廃プラ施設予定地に集約させた後に民間委託で処理しているが、特に問題がある訳ではない。

小平市だけが市の施設で全て処理しているが、老朽化した地元施設の対応で困っており、3市共同の施設はその打開策が必要という理由以外に、必要性や緊急性は見い出せないのである。

昨年2月に作成された廃プラ施設の実施計画でも、その必要性について「資源化を行う施設は、老朽化や処理能力の限界等の課題があります」と述べているに過ぎない。

◆リサイクルも疑問?

さらにリサイクルの点でも実施予定の「その他プラ」のマテリアルリサイクルは、ほとんど意味がないことを業界団体のプラスチック循環利用協会が自ら発行する冊子で述べている。つまり、プラスチックの再利用は技術的に困難で、分別収集しても家庭から出る「その他プラ」は最終的に燃やしている実態を説明している。

結局、公益的な観点も疑問なのである。必要性も乏しい廃プラ施設の建設に26億円もの税金を投入して良いのか? 真剣に問われている。

「(資源化を行わない)ごみ搬入量を現在よりも増加させ、新しい焼却施設の規模を大きくすることになる」と反論してきた。

しかし、実施計画の内容からすると、廃プラ施設が稼働しても焼却ごみ量全体の5%位しか減量にならない。衛生組合の答弁のいい加減さが、自ら作成した実施計画で明白になってしまった。

カフェレストラン

PACE パーチェ

火・水・金(祝日含)

AM11:30~PM2:00

<http://pacekeyaki.web.fc2.com/>

大好評の日替わりメニューはHPで
ご確認ください!

ランチ 680円
(サラダ・スープ付)

ランチドリンク付
830円



★どのような障害があっても働き、学び、憩える!

PACE パーチェ
交番 天井
新青梅街道 東大和市役所
【注】駐車場は2台分しかありません。

障害福祉サービス事業所

PACE(パーチェ)

(就労継続支援B/生活介護)

東大和市奈良橋5-814-14

Tel.042-843-6375

月~金 開所(祝日も開所)

※通所時間は9:30~15:30です。

東大和市が戦災変電所保存の為に寄付募集集中!! 「平和への熱い思いが返礼」に反響も

世界遺産にもなった広島市の原爆ドームと同様、爆撃の痕跡を当時のままに残した国内でも極めて貴重な東大和市の旧日立航空機株式会社変電所（市指定文化財）を修繕・



保存するための基金が昨年秋に創設された。

そして、東大和市はそのための寄付を「ふるさと納税」を含めて全国に呼びかけている。特に「ふるさと納税」については返礼品が高額化して問題視される中、あ

えて高額返礼品を用意せず、寄付者の氏名明記と「平和への熱い思いが返礼」としたことに一部マスコミも注目。NHKや

民放テレビ、新聞各紙で紹介されるなどした。

ただし、担当課として寄付者には戦争遺跡や平和に関する情報提供等のサービスは継続的に行うとしている。

また、マスコミで紹介されたこともあり、寄付を呼びかけた10月

から12月の3

か月で約230万円の寄付が寄せられている。まだ宣伝が

充分とは言えない段階で、多くの寄付が寄せられ始めたことは嬉しい限りであるが、目標額は戦災変電所の修繕および耐震工事等の経費約2億円

としている。

第一期目標は平成30年度で、万が一寄付が満たない場合は市費を投入して工事を行うことになるが、国内はもとより世界にも平和のシンボルとして発信できる貴重な戦災建造物だけに、市民の力で目標額の達成を願いたい。

☆ 実際の寄付や「ふるさと納税」の手続き等は、東大和市 042(563)2111 まで。担当・総務部 総務管財課 用地管財係（庁舎3階）。

やまとみどり 主催 市政を語る会

2月18日(土)
午前10時~12時
ハミングホール会議室

参加市議: 中野志乃夫(無所属)
床鍋 義博(無所属)

【参加費無料】

◆東大和市議会会派やまとみどりによる市政報告会です。お気軽にご参加を。
※問合せは「東大和タウンマップ」まで

東京都女性活躍推進大賞



映画「風は生きよという」の時に紹介した海老原宏美さん（東大和市地域自立支援協議会会長）が平成28年度東京都女性活躍推進大賞の個人の部に選ばれ、1月18日都庁で表彰された。

海老原さんは、社会的偏見がまだ根強い中で「重度障害者は、ただ存在しているだけで活躍していると言えるのでは？」といった重度障害者の理解と問題提起を行った自筆の手紙を小池都知事に手渡したという。手紙全文は海老原さんのフェイスブックでご覧を。

イベント情報

ミニ発電ワークショップ「おひさまdeチャージの仕組みは？」

◆2月12日(日)午後2時~ / 奈良橋市民センター集会所 / 資料代300円 / 申込み先・NPO

法人東大和エネルギーの会

042-566-2950

東大和市聴覚障害者協会、東大和市手話通訳者の会ほか共催

第6弾『昔のない世界を知ろう』

◆2月18日(土)午後1時30分~3時30分 / 東大和市南衛公

民館202 / 問合せ先・細田

FAX 042-565-3882

東大和防災フェスタ2017

◆3月5日(日)午前9時半から12時半※小雨決行・雨天中止 / 都立東大和南公園にて / 市内一

斉避難訓練(午前8時45分から9時30分) / ◎警視庁警察犬に

よる救出救助のいのちを守る◎プロジェクトJAPANによる

防災パフォーマンス他 / 東大和市・都立東大和南公園共催

編集後記



東大和タウンマップ代表 中野しのぶ

歴史的に天皇は、その時代にうまく適合しながら生き延びてきた存在である。仏教を和風に取り入れてしまっ極めて柔軟かつあいまいな日本の伝統的思考が、天皇制を存続させてきたとも言える。だからこそ現在の民主主義制度の基で天皇の在り方を検討すべきであり、制度ではなく個人として尊重し文化として天皇家の存続を考慮すべきではないか。その点での憲法改正は必要だと思っ。

◆不思議である。天皇を巡る議論がある。天皇は「象徴」という名の神なのか？ 制度なのか？ 天皇自らが一人の人間として矛盾した制度の見直しを求めただけなのに「生前退位を認めると天皇制を壊しかねない」「天皇の政治利用を招きかねない」等々の大騒ぎである。

72年前、敗戦によって天皇は神でなく人になったはずである。なのに何故、日本国民なら認められるはずの投票権はなく、職業選択の自由もないのか。その基本的人権と天皇制の矛盾からまず議論すべきではないのか。

報道が、不思議である。

ギター教室

検索

~習い事ではなく夢をかなえるために~



荒居ギター教室

www.araguitar.com

ギター上達法サイト

—お持ちのギターを用意してから—

Email: araguitar@muf.biglobe.ne.jp

“やすらぎといこいの空間ここにあり”

喫茶・軽食



どっぽ

10:00AM ~ 9:00PM
(7:00PM以降は予約制)

日曜祝日定休 駐車場あり

TEL (565) 5182 東大和市南街 1-19-5

